

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成24年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第2号（普通期水稻のトビイロウンカ）を発表します。

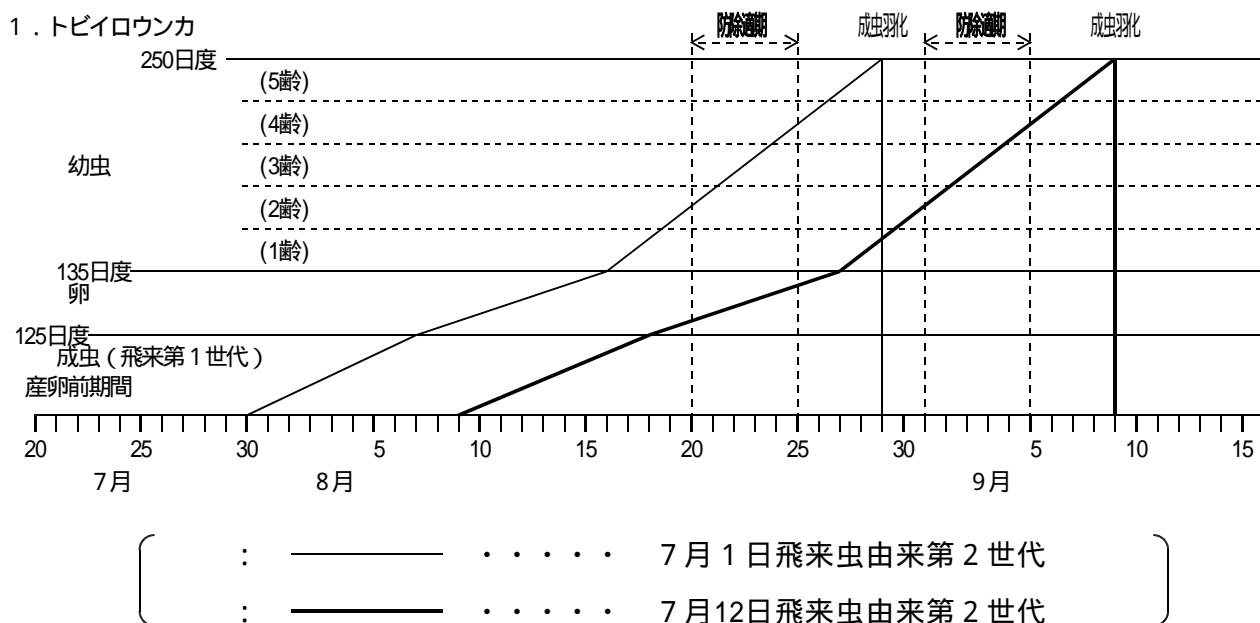
病害虫発生予察 注意報第2号

- 1 農作物名 普通期水稻
- 2 病害虫名 トビイロウンカ
- 3 発生地域 県内全域の普通期水稻栽培地帯
- 4 発生量 多
- 5 発生状況及び注意報発令の根拠
 - (1) 7月31日～8月3日に行った巡回調査(調査ほ場数62ほ場)での発生ほ場率は36%(平成23年34%)と平成並であった(表1)。トビイロウンカ発生ほ場のうち、約55%のほ場で短翅型雌成虫が認められ、その発生密度は0.02頭/株であった。
 - (2) 農業開発総合センター内の予察ほ場(無防除)では、1株当たり成幼虫数が0.8頭(7月26日調査)、1.6頭(8月2日調査)と、ほ場での定着及び増殖が認められた。
 - (3) 今回の調査で認められた成虫は、7月1日飛来虫に由来する飛来第1世代成虫と推察され、今後、7月12日飛来虫に由来する飛来第1世代成虫の多発生が予想される。
 - (4) 向こう1か月の天候予報では、九州南部の平均気温は平成並か高いと予想されており、トビイロウンカの増殖に好適な条件が見込まれる(鹿児島地方気象台 8月3日発表)。
- 6 防除の考え方
 - (1) 7月1日飛来虫の飛来第2世代幼虫の防除適期(幼虫ふ化揃い期)は、8月20～25日頃と予想される(参考資料の発生経過予測図を参照)。
 - (2) 7月12日飛来虫の飛来第2世代幼虫の防除適期(幼虫ふ化揃い期)は、8月31日～9月5日頃と予想される(参考資料の発生経過予測図を参照)。
- 7 防除上注意すべき事項
 - (1) トビイロウンカは増殖率が非常に高く、8月下旬以降には高密度となり坪枯れ被害を生じる恐れがある。近年では、平成17年や21年に発生が多くみられている。
 - (2) 稲の株元に生息するので、粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように行う。
 - (3) ほ場では各虫態が混在しているので、防除を実施したあとも、その後の発生に十分注意する。
なお、ほ場内の分布にはムラがあるので、ほ場全体の発生状況を確認する。
 - (4) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。

(参考資料)

トビイロウンカの有効積算温度による発育経過予測図 (鹿児島地方気象台：加世田のデータを使用)

鹿児島県病害虫防除所 2012年8月6日 作成



(注) 気温の低い地域では、本予測より数日程度遅くなる。

表1 トビイロウンカの発生状況 調査日：7月31日～8月3日

地域名	発生ほ場率 (%)		調査ほ場数
	本年	平年	
南 薩	60	41	10
北薩平坦	46	37	24
北薩山間	14	34	22
大 隅	33	24	6
県 計	36	34	62

平年は2002年～2011年までの平均値

巡回調査地点

南 薩： 南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目

日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦： 鹿児島市東佐多町，蒲生町楠田，始良町三拾町

霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎町・高江町

出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田

薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内

北薩山間： さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手

伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・大田・山野，湧水町北方

大 隅： 曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里